

第4次知多市地域福祉計画（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和2年12月18日（金）～令和3年1月22日（金）
 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファクシミリ又は電子メール
 3 意見の提出者数 7人（18件）

資料1

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
1	1	1	第1節 計画策定の趣旨	新型コロナウイルス感染症対応策を検討し、明示しなければ、文言だけでは計画に寄与しないと思われます。	新型コロナウイルス感染症対策の重要性に関しては、十分認識しております。国からの指針や知多市新型コロナウイルス感染症対策本部の方針に基づき、対応してまいりますので、計画には記載しません。
2		2	第2節 計画の位置付け	計画の位置付けの図について、制度面からだけでなく、計画の段階から市民のインフォーマルな地域活動も対等に明記されるといい。このことが市民の意識改革と地域の仕組みの構造改革につながると考える。	計画の位置付けに記載する地域福祉関連計画等との関係図は、地域福祉計画と関連計画との関係性を整理しています。市民の地域活動に関する項目は記載していませんが、市民の地域活動の推進は重要な事項と考えており、第4章の「基本施策」の中で重点的に記載をしています。
3		5	第4節 計画の策定体制 (2) 団体等ヒアリング	ヒアリング・アンケートを実施しても、対応策を明示し、協働の方策を示すことが必要不可欠と思われます。	主な意見を抜粋して記載していますが、団体ヒアリング・アンケートの意見を踏まえ、第4章の「基本施策」で、施策の方向性を記載しています。
4	2	10	第1節 本市の現状 (7) 子ども会の加入状況 (8) 老人クラブの加入状況	勧誘活動の障害や意見対立など、個人の自由、多様性の尊重が壁となった、行き着く先の姿ではないでしょうか。	子ども会や老人クラブの加入率は減少傾向にありますが、地域活動として重要なものと考えています。より活動しやすい環境づくりに向け、支援を進めていきます。
5	3	11～13	第1節 基本理念 第2節 基本方針 第3節 計画の体系	基本理念・基本方針・計画の体系の説明が抽象的で分かりづらい。 (高齢者保健福祉計画の表現が分かりやすい)	地域福祉計画は、高齢者保健福祉計画、障がい者計画、子ども・子育て支援計画など、それぞれ事業の具体的な内容を示す個別計画ではなく、個別計画を包括し、地域福祉全体の方向性を示す計画としています。
6	4	14	基本方針1 連携と協働の仕組みづくり (1) 市民協働の推進	社会性の認識と生き方、使命感が得られるような動機づけが必須と思われます。	自分の役割を感じられることが主体的な活動参加において重要な要素と考えています。誰もが自分の役割を持てる社会参加を促進する機会の提供を進めていきます。
7		17	基本方針1 連携と協働の仕組みづくり (3) 活動・交流拠点の確保	地域との関わりを「持たない人」について、「持たない」のではなく、持ちづらい状況があるように思います。小さい子どもを育てている人にとって、地域や人との関わりは不可欠です。子どもがのびのびと育つには、おもちゃの取り合いやケンカして泣くなど、友達との関わり合いがあつてこそ、心も成長すると考えます。しかし、公共の施設で行われている「親子ひろば」や公園あそびでは、ケンカをしないように制したり、トラブルが起きないように親が関わりを避けてしまっているような気がします。 また、自分の子は自分で見られなければ、施設に入れない状況もあります。子どもの意思を尊重できず、禁止ばかりの状況では、親も子どもストレスを感じ、関わりを持ちたいと願ってもできない現状です。地域の子どもは、トラブルもあたたかく見守ってこそ、地域で育つと考えます。人に寛容な居場所づくりを希望します。	地域との関わりを持ちづらい状況の人が地域と関わる機会を増やす点においても、地域の交流拠点、居場所づくりは役割が大きいと考えています。 また、その運営については、地域ごとの状況を踏まえて、誰もが参加しやすい仕組みなど、地域の皆さんと一緒に考えていくことが重要と考えています。

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
8	4	17	基本方針1 連携と協働の仕組みづくり (3) 活動・交流拠点の確保	<p>知多市生活支援体制整備事業では、市、社協、NPOが連携して「地域の居場所」づくりを進めているが、「ふれあい・いきいきサロン」に加え、週4日以上で12時間以上開設を条件とする「高齢者まちかど居場所づくり事業」の対象となる「地域の居場所」がある。市民に対しても「サロン・居場所」として周知していると思われるので、表記を次のように変更してはどうか。</p> <p>「地域で運営する「ふれあい・いきいきサロン」や、市民団体による「親子ひろば」など」</p> <p>⇒「地域で運営する「ふれあい・いきいきサロン」や、NPOやボランティア団体による「地域の居場所」や「親子ひろば」など」</p>	<p>「高齢者まちかど居場所づくり事業」は、知多市が地域の高齢者の居場所づくりに係る運営費などを補助する事業のことで、その対象として、週4日以上開催する、いわゆる常設型のサロンも含まれています。そうした常設型のサロンも「ふれあい・いきいきサロン」の一部と考えているため、「地域の居場所」の名称は追記しませんが、その運営団体としてNPOが行っているところもありますので、表記を次のように変更します。</p> <p>「地域で運営する「ふれあい・いきいきサロン」や、市民団体による「親子ひろば」など」</p> <p>⇒「NPOやボランティア団体等が地域で運営する「ふれあい・いきいきサロン」や「親子ひろば」など」</p>
9		18	基本方針1 連携と協働の仕組みづくり (4) 福祉教育の充実	福祉川柳の実施、PRは成功例として誇るべきものと思われる。継続が望まれます。	知多市社会福祉協議会が実施している「ふくし川柳」は、児童、生徒の思いやりや助け合いの気持ちを育む機会となっております。今後も継続して実施していきます。
10		23	基本方針3 誰もが参加できる活動の場づくり (1) 健康づくり・介護予防の推進	ゲートキーパー養成講座は、受講したい人が多いと思うので、広報等で早めに周知していただきたい。	ゲートキーパー養成講座は、この地域福祉計画の個別計画である「知多市自殺対策計画」に基づき、地域で活動する様々な団体を中心に開催しております。今後は、広報等での周知も検討してまいります。
11				厚生労働省の栄養素の推奨量、摂取量を比べると多くの人で栄養が不足しているようです。不足しやすい栄養素を、訴える活動を推進することも必要では。 (一例として) ヨウ素不足で発生する、クレチン症（知的障害）の赤ちゃんの発見率が増加しています。ヨウ素は、海藻類以外でほとんど摂取できないので、海藻類を確実に摂取するように推奨してください。赤ちゃんの足がO脚になるクル病も増加しています、ビタミンD不足にならないように日光浴を推奨してください。	栄養・食生活に関することは、この地域福祉計画の個別計画である「健康日本21ちた計画」に基づき計画的に推進しています。今後もライフステージに合わせた栄養・食生活に関する情報について、保健指導の場や広報・ホームページ等での周知を進めていきます。
12	4	25	基本方針3 誰もが参加できる活動の場づくり (3) 多様なつながりと交流の推進	地域福祉の担い手として登録者を募集する制度があれば応募したいと考えている。	地域の支え合い活動やボランティアなど、地域福祉の担い手として活動できる機会についての情報提供を進めていきます。

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
13	4	21	基本方針2 必要な支援を受けられる環境づくり (2) 情報提供の充実	情報提供の充実、計画の周知が特に大切だが、情報を地域で受ける人を育てる仕組みが重要だと思う。	計画の周知も含め、必要な方に情報が届くよう、分かりやすい情報提供を進めていきます。
	5	26	第1節 計画の周知		
14	5	26	第1節 計画の周知	事業等の年間予定表があれば、参加できるものに参加したいと考えている。	事業予定を広報、ホームページ等で周知するなど、参加しやすい情報提供を進めていきます。
15			第2節 推進体制の整備	「地域住民」とあるのは、「自治会・町内会」の方が良いと思う。	「自治会・町内会」の組織に所属していない人もいますので、幅広く連携して取組を進めることができるよう、「地域住民」という表現にしています。
16				会議体の設置においては、市全体レベルのものと、コミュニティ（または自治会・町内会）レベルのもの2段階構えで地域密着を図ってほしい。	市役所に関係課で構成する連携会議を設置します。コミュニティレベルの会議体の設置については、既存の各事業ごとに設置されている会議体を有効活用するなど、連携を強化していきます。
17				「第3節」として、地域住民の「参加促進」の項目を追記してはどうか。	地域住民の参加促進については、「基本方針3 誰もが参加できる活動の場づくり」に重点的に記載しております。
18	その他		パブリックコメントの時期について	今回、13件の市の計画等に係るパブリックコメントの募集が同時期に行われた。市役所内で連携し、時期が集中することを避けられるようお願いしたい。	計画策定に当たっては、市民の皆様の意見を反映することを心掛けているため、パブリックコメントの募集案件は増加しています。 策定年度が法令で定められている計画も多く、また、なるべく最新の状況を踏まえて策定を行っているため、パブリックコメントの募集時期が集中しているものです。